

# 参 考 资 料

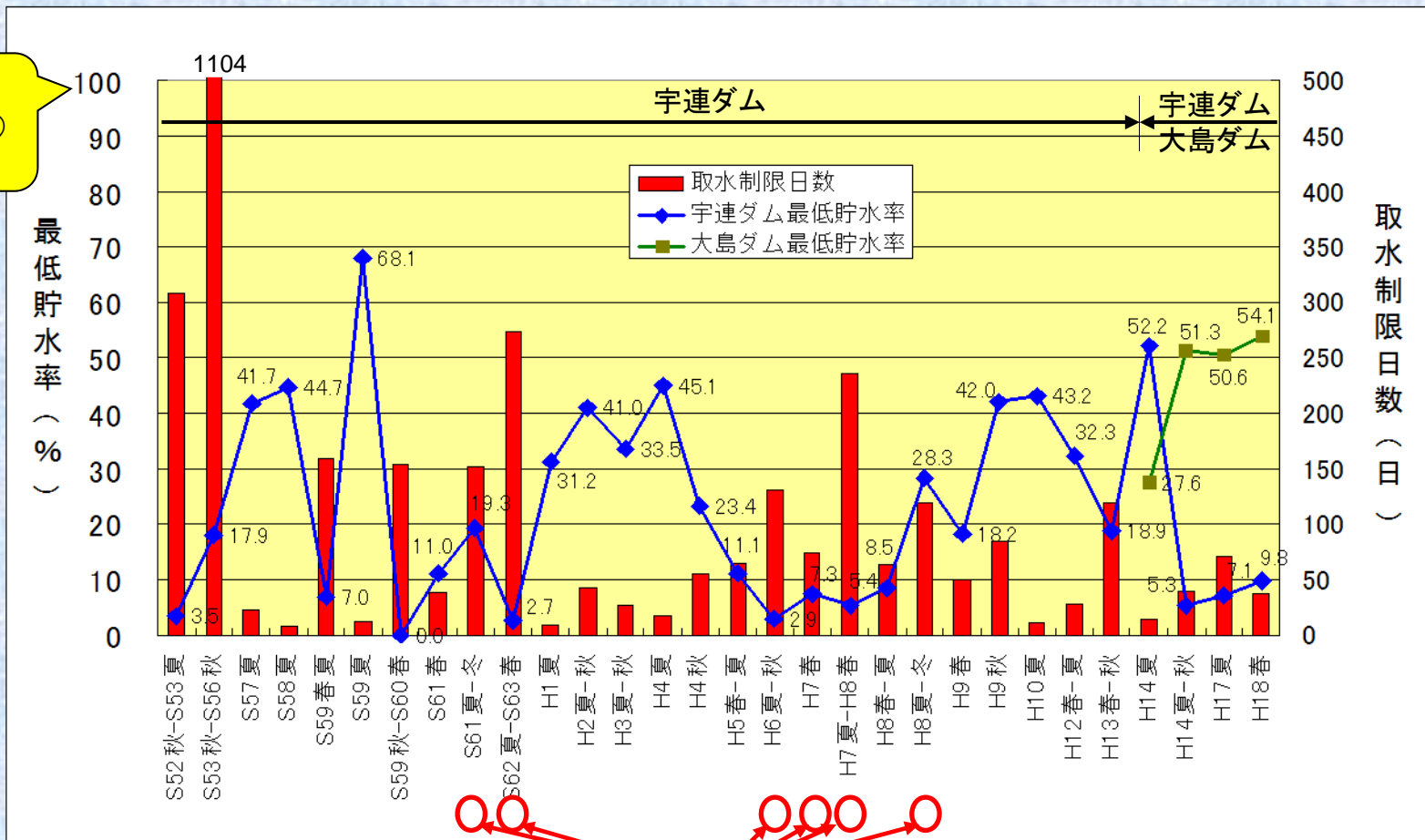


# 豊川水系における渇水発生状況

■昭和43年に豊川用水が完成して以降、宇連ダムの最低貯水率が昭和59年には貯水率0%、平成元年2.7%、平成6年2.9%まで低下した。大島ダムの運用が始まった以降も、平成14年に最低貯水率が宇連ダム5.3%。大島ダム51.3%まで低下した。

ダム合計利水容量  
2,842万m<sup>3</sup>(S48~H14.3)  
3,972万m<sup>3</sup>(H14.4~)

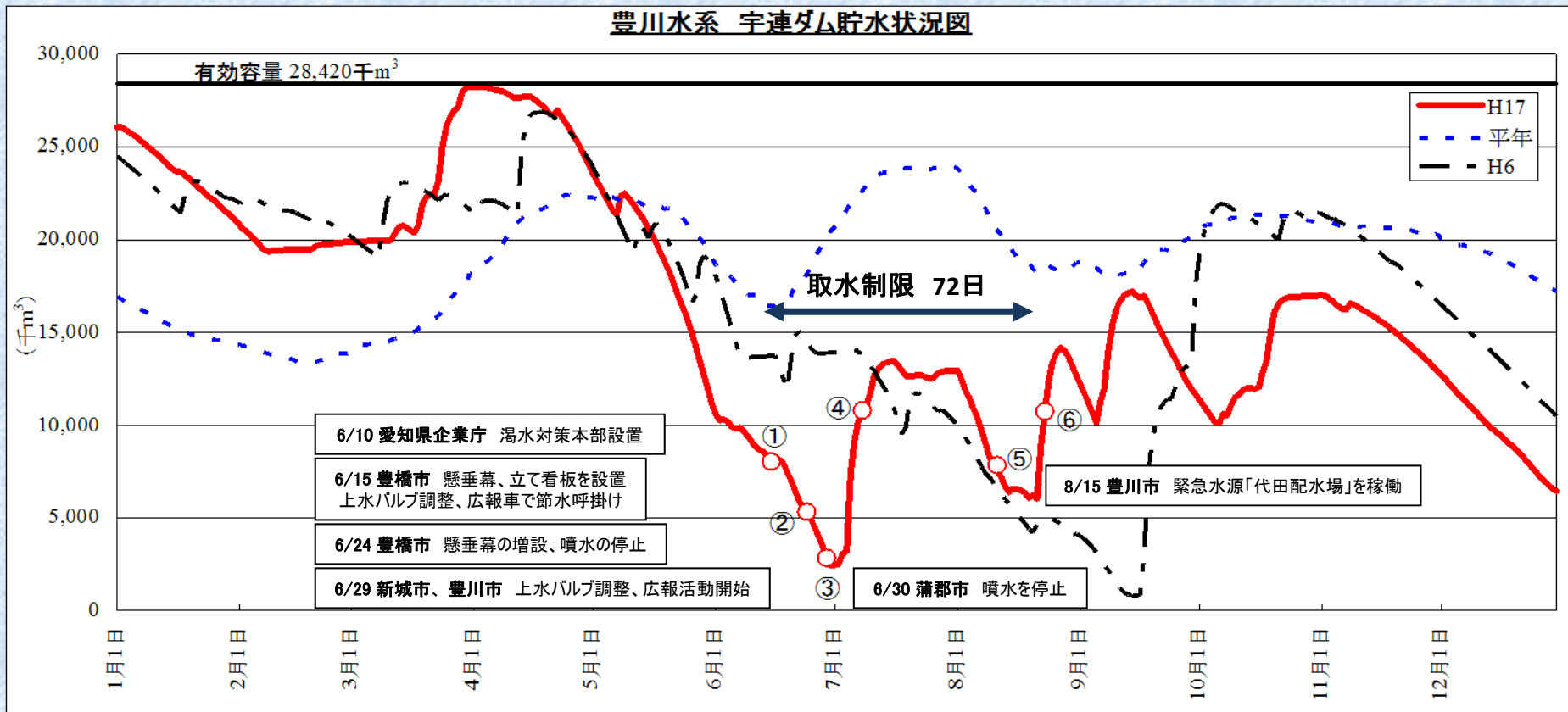
(内 訳)  
宇連 2,842万m<sup>3</sup>  
大島 1,130万m<sup>3</sup>



豊川緊急渇水調整協議会開催

# H17年 渇水 の 状 況 ( 宇 連 ダ ム の 貯 水 量 変 化 )

■ 豊川水系では、4月～6月の降雨が大規模な渇水年であった平成6年を下回り、6月末には、豊川用水節水対策協議会による調整で、上水20%、工水・農水30%の取水制限となった。



期	間	日数	上水	工水	農水	貯水量	貯水率	平年比
①	H17.6.15 ~ H17.6.23	(9日)	5%	5%	5%	8058千m <sup>3</sup>	28.4%	48.9%
②	H17.6.24 ~ H17.6.28	(5日)	10%	10%	10%	5307千m <sup>3</sup>	18.7%	29.2%
③	H17.6.29 ~ H17.7.7	(9日)	20%	30%	30%	2839千m <sup>3</sup>	10.0%	14.1%
④	H17.7.8 ~ H17.8.10	(34日)	10%	10%	10%	10812千m <sup>3</sup>	38.0%	47.8%
⑤	H17.8.11 ~ H17.8.22	(12日)	20%	20%	20%	7858千m <sup>3</sup>	27.6%	38.3%
⑥	H17.8.23 ~ H17.8.26	(3日)	10%	10%	10%	10747千m <sup>3</sup>	37.8%	58.1%
計		(72日)						

■ 渇水対応として、ダム枯渇による甚大な被害の発生を防止するため、豊川用水節水対策協議会は、各利水者との調整や対策を実施。ダムの枯渇を回避。

平成17年 豊川用水節水対策協議会等の経緯

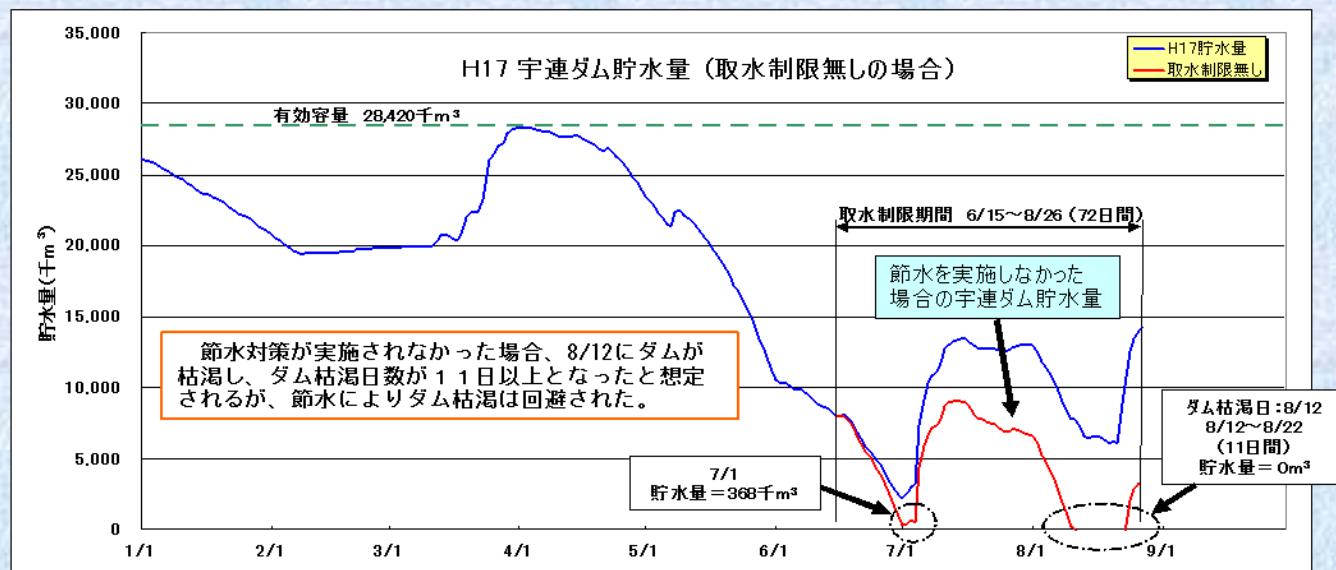
開催日	会議名・議題	対応策	備考
H17.6.13	豊川用水節水対策協議会 「節水対策の開始について(協議)」	平成17年6月15日(水)9時より第1回節水対策 上水5%、工水5%、農水5%	開始
H17.6.22	豊川用水節水対策協議会 「今後の渇水対策について」	平成17年6月24日(金)9時より第2回節水対策(強化) 上水10%、工水10%、農水10%	
H17.6.27	豊川用水節水対策協議会 「今後の渇水対策について」	平成17年6月29日(水)9時より第3回節水対策(強化) 上水20%、工水30%、農水30%	
H17.7.4	豊川用水節水対策協議会 「今後の渇水対策について」	第3回節水対策の継続 上水20%、工水30%、農水30%	
H17.7.7	豊川用水節水対策協議会 「今後の渇水対策について」	平成17年7月8日(金)12時より第4回節水対策(緩和) 上水10%、工水10%、農水10%	
H17.7.8	豊川用水節水対策協議会 「今後の渇水対策について」	平成17年8月11日(木)9時より第5回節水対策(強化) 上水20%、工水20%、農水20%	
H17.8.22	豊川用水節水対策協議会 「今後の渇水対策について」	平成17年8月23日(火)9時より第5回節水対策(緩和) 上水10%、工水10%、農水10%	
H17.8.25	豊川用水節水対策協議会 「節水対策の解除について」	平成17年8月26日(金)9時より節水対策解除	節水期間 72日間

豊川用水を管理する水資源機構をはじめとする各関係機関との綿密な調整を経て、最適な節水対策が執られた。

豊川用水節水対策協議会



## 節水を実施しなかったら、ダム枯渇



- 豊川水系において、7月上旬及び8月中旬の降雨により、宇連ダムの貯水量は回復した。
- 今回の渇水において、各関係機関の節水に対する取り組みのほか、大島ダムや地区内調整池などの施設の効果により、大きな被害の発生を食い止めることができた。

宇連ダムの貯水状況



ダム底に無残な土膚が現れ、川にあった部分の階段に、草がはえてきた宇連ダム

「空梅雨」でまとまった雨が降らず、東三河の水ガメ・宇連ダムは貯水率7・7%（1日午前現時現在）まで激減した。大島ダムや調整池を含めた貯水量も1147万2000<sup>ト</sup>（22・1%）に減り、このままだと今月中下旬に「枯渇」する。「農業用水、工業用水各30%、水道用水20%」まで節水対策を強化した豊川用水節水対策協議会（会長＝西橋順二・水資源機構豊川用水事業部長）は、4日に開く節水協議会で、「枯渇」の危機を踏まえた、新たな対応を迫られることになった。（杉浦文夫）

「もらい水」など対応練る

水ガメ枯渇の危機

4日節水協議会

宇連、大島ダム周辺のる方場調整池（有効貯水量500万<sup>ト</sup>）も6月4日時点で、例年の半分以下、観測史上3番目に少ない。7月1日午前現時現在の宇連ダム（有効貯水量2842万<sup>ト</sup>）の貯水率は217万8000<sup>ト</sup>で、貯水率7・7%。ダム底は、築造時に伐採した木の切り株や土膚があらわ。川にあった低い階段に水が残るだけだ。 豊美半島の農業を支える協議会は4日、さらなる

東愛知新聞(H17.7.2)

利水への影響

取水制限率 5%（上）、5%（工）、5%（農）で始まった節水対策は6月末には20%（上）、30%（工）、30%（農）にまで強化され、更なる節水への協力を懸垂幕や立て看板を掲げて市民に呼び掛けた。

公園などの噴水の中止、給水バルブの調整（水圧低下の措置）などの対策がとられた。

定植控えたキャベツ、水稻や次郎カキも心配

### 「雨よ…」農家不安顔

水不足の影響じわり

豊川用水節水対策協議会（会長＝西橋順二）は、4日午前現時現在の宇連ダム（有効貯水量2842万<sup>ト</sup>）の貯水率は217万8000<sup>ト</sup>で、貯水率7・7%に激減した。このままだと今月中下旬に「枯渇」する。協議会は4日、さらなる節水対策を強化し、市民に呼び掛けた。公園などの噴水の中止、給水バルブの調整（水圧低下の措置）などの対策がとられた。

東愛知新聞(H17.8.18)

### 水音消えた「せせらぎ」

深刻化する渴水 節水対策強化呼び掛け

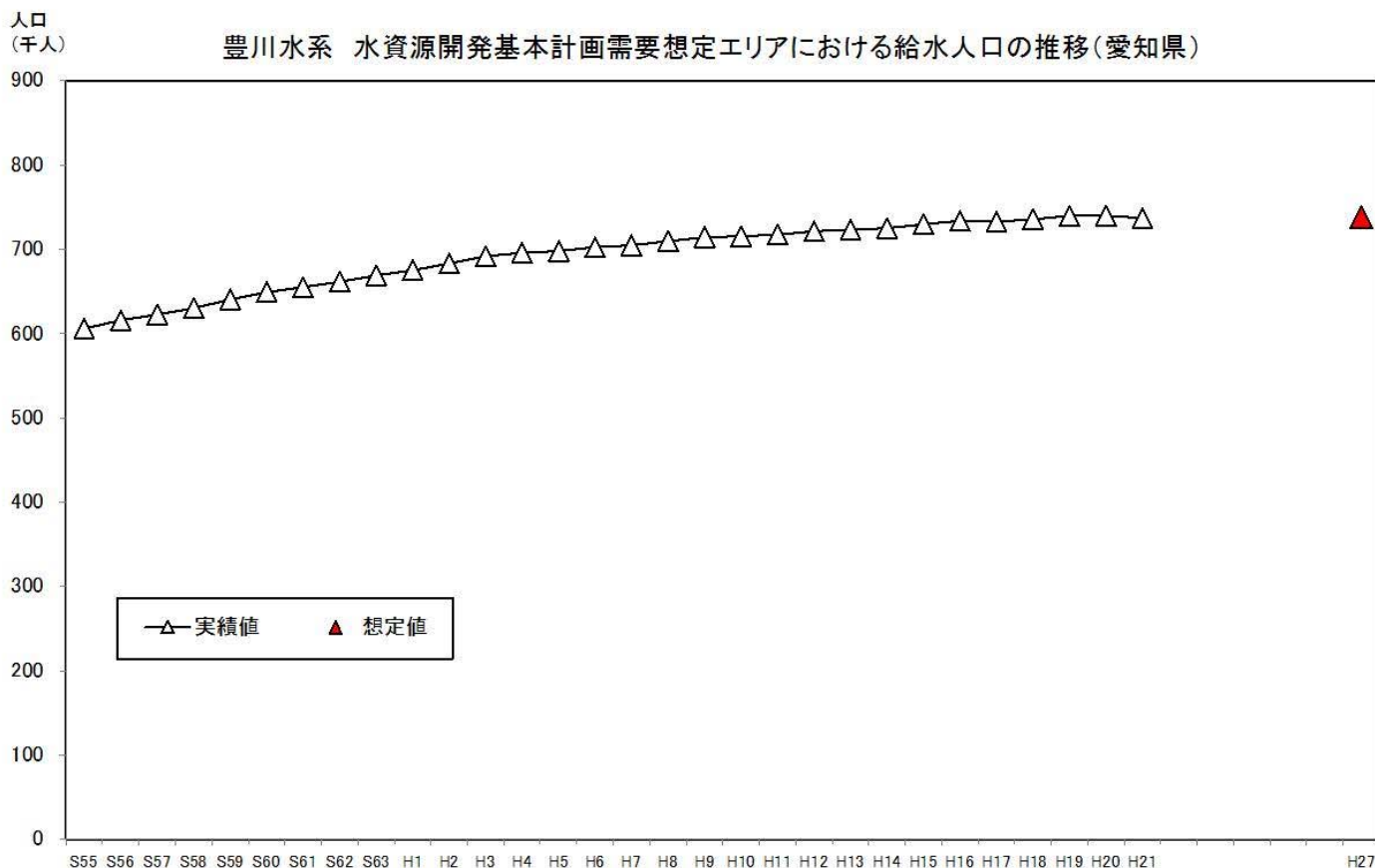
蒲 郡 市

街頭PR活動としては4日、同駅周辺でデッキシユニなどの啓発グッズ2000個の配布を各県企業庁と共同で行った。 市節水対策本部によると、対策が好転しな場合、状況を見ながら、主要水道管の通水量を減らすバルブ調整や市営の風呂施設や老人福祉施設などの休館を予定。さらに市民サービスの利用促進や学校プールの利用自粛なども検討課題に上るものとみられる。

同市は29日、第3回対策発表会を開催し、節水率を20%に高めるとに伴い、水源を100%同用水に頼る蒲郡市が節水対策を強めている。 同市は29日、第3回対策発表会を開催し、節水率を20%に高めるとに伴い、水源を100%同用水に頼る蒲郡市が節水対策を強めている。 同市は29日、第3回対策発表会を開催し、節水率を20%に高めるとに伴い、水源を100%同用水に頼る蒲郡市が節水対策を強めている。

東日新聞(H17.7.1)

## 検討主体が行う必要な開発量の確認結果について(参考)



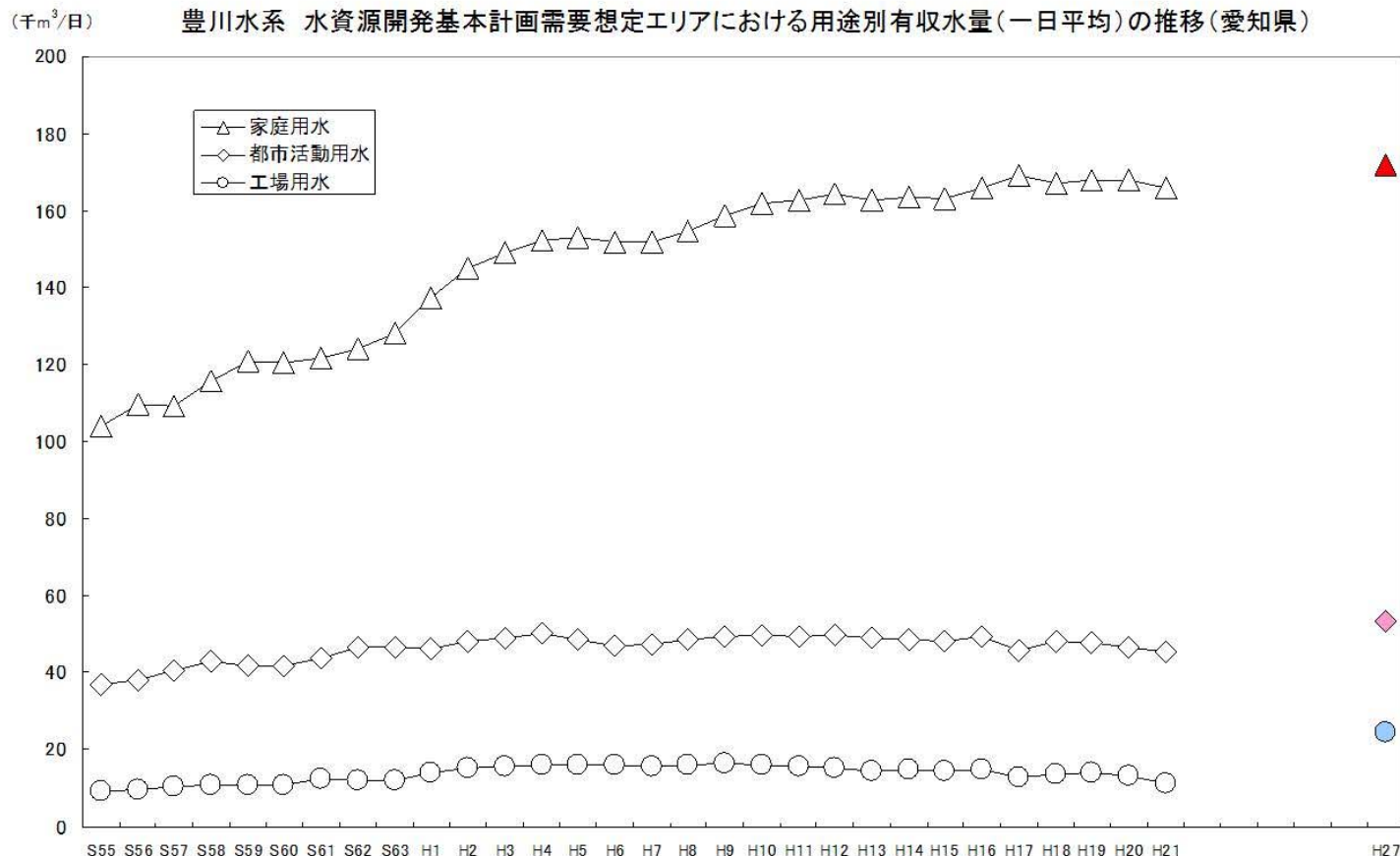
※ S55～H15, H27は、「豊川水系水資源開発基本計画」による値

※ H16～H21は、「豊川水系における水資源開発基本計画需要実績調査」等による値

# 現行フルプランエリアにおける需要の状況（水道用水2 愛知県）

第4回設楽ダム検討の場「資料-3 必要量(新規利水)の算出の確認について」より抜粋

## 検討主体が行う必要な開発量の確認結果について(参考)



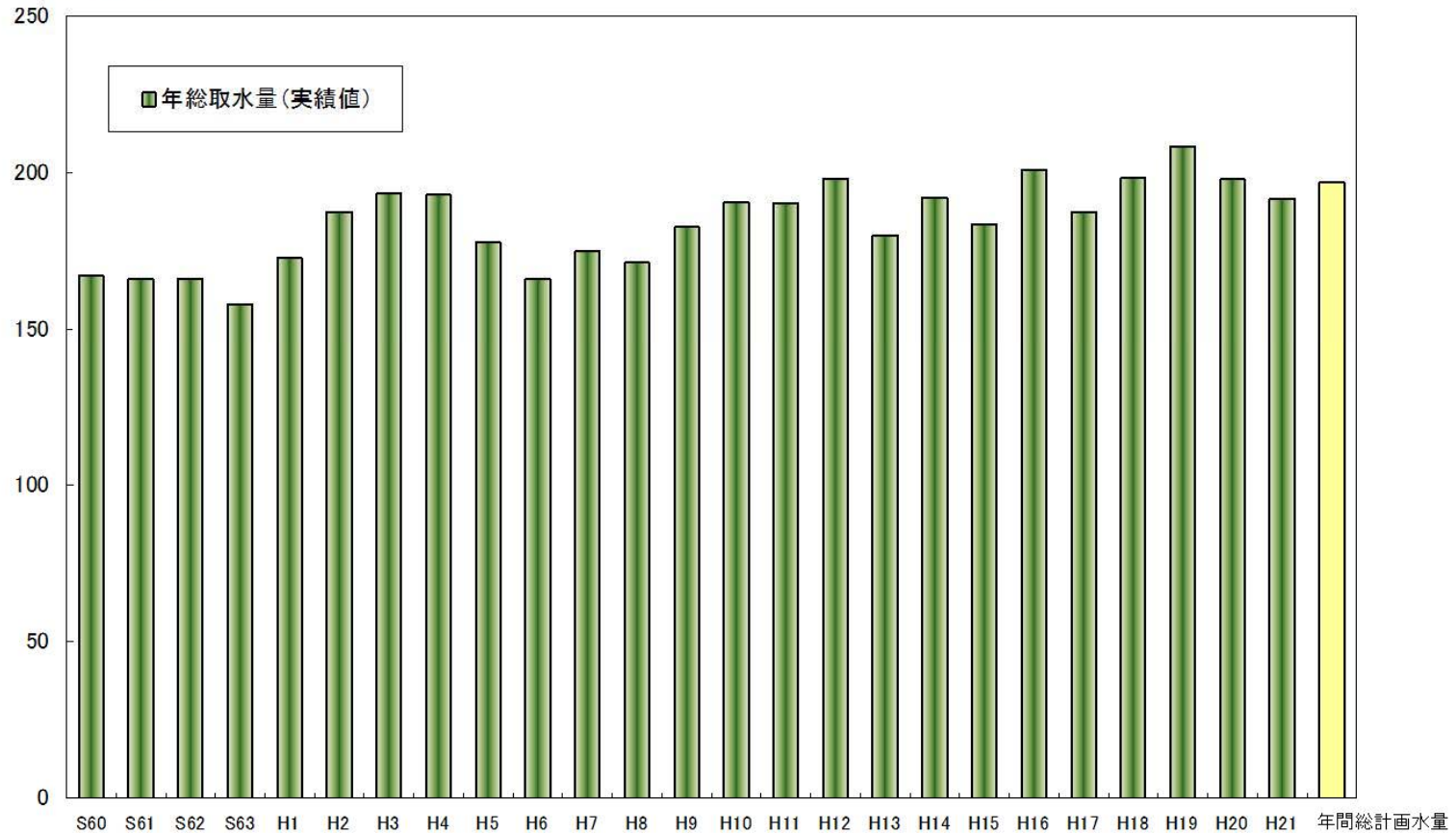
- ※S55～H15、H27は、「豊川水系における水資源開発基本計画」による値
- ※H16～H21は、「豊川水系における水資源開発基本計画需要実績調査」等による値
- ※「有収水量」とは、各家庭、工場等で使われ、水道料金収入につながる水量
- ※「家庭用水」とは、飲料・洗面・手洗、水洗便所、風呂、洗濯等で家庭で使用するもの
- ※「都市活動用水」とは、営業用、官公署・学校、公衆浴場、公共栓等で家庭及び工場以外で使用するもの
- ※「工場用水」とは、水道用水を工場で使用するもの



## 検討主体が行う必要な開発量の確認結果について(参考)

豊川水系 水資源開発基本計画需要想定エリアにおけるかんがい用水(大野・牟呂松原頭首工)の推移

取水量(百万m<sup>3</sup>)



※ S60～H21は、「水資源開発施設等管理年報」による値  
※ 年間総計画水量は豊川総合用水事業による値